

区分	L 罹災ごみ	表中受入数量は1法人(者)1日最大量		
廃棄物の種類	具体例	搬入条件		受入施設
可燃物	<p>臨海工場、西部工場 2m以下×1m以下 ×直径(厚み)25cm以下 ※量は半量以下</p> <p>東部工場 1m以下×1m以下 ×直径(厚み)25cm以下 ※量は半量以下</p>	<p>火災の場合は完全に消火されていること 西部工場には2トン未満、臨海、東部工場には4トン未満の車両で搬入すること 不燃物の分離及び左記寸法以内になるよう前処理を行うこと 不燃物と可燃物の分離が困難と市が認めるものは、埋立場搬入とする</p> <p>(減免-福岡市民のみ) 火災又は災害により発生した廃棄物で、本市の処理施設で処理が可能な廃棄物である場合は減免制度あり。詳細は各区生活環境課へ相談ください。減免の場合は、搬入時に各区生活環境課発行の「搬入カード」が必要 なお、工場・資源化センターが同一施設内にあり、それぞれへの搬入物が適正に分別されている状態で同一車両にて搬入することは可 この場合、1台の車両につき1枚の「搬入カード」とする。ただし、混載で埋立場へ搬入する際は、別途同課発行の「搬入カード」が必要 減免の場合、自己搬入の事前申し込みは不要</p>		工場
不燃物	<p>「K建設廃材」等に準じる ※罹災によってリサイクル不能な家電は埋立場へ搬入</p>	<p>火災の場合は完全に消火されていること 可燃物の分離及び各廃棄物の種類毎の寸法以内になるよう前処理を行うこと 混載がやむを得ないと市が認めるものは、埋立場搬入とする</p> <p>(減免-福岡市民のみ) 火災又は災害により発生した廃棄物で、本市の処理施設で処理が可能な廃棄物である場合は減免制度あり。詳細は各区生活環境課へ相談ください。減免の場合は、搬入時に各区生活環境課発行の「搬入カード」が必要 なお、工場・資源化センターが同一施設内にあり、それぞれへの搬入物が適正に分別されている状態で同一車両にて搬入することは可 この場合、1台の車両につき1枚の「搬入カード」とする。ただし、混載で埋立場へ搬入する際は、別途同課発行の「搬入カード」が必要 減免の場合、自己搬入の事前申し込みは不要</p>		埋立場 資源化センター